

「山上の光賞」 受賞のご報告

www.sanjo-no-hikari-sho.com

NPO国際障害者ピアノフェスティバル委員会（元ピアノパラリンピック委員会）会長
迫 田 時 雄

私は 誠に名誉なことに このたび「第1回 山上の光賞」を受賞させていただきました。不明の至りと申しますか、私は今までこのような賞があることは全く存じませんでした。ましてや、表彰式の会場に伺ってびっくりいたしましたのは、お会いする方がた、日野原重明先生をはじめ、どなたも我が国を代表する、医学界の重鎮の方々ばかりです。その中で 一介のピアノ弾きが何故ここに？と会場の隅で小さくなる始末でした。表彰式が始まりそれぞれの先生方の、まさに日本の医学界の最先端、いや世界の医学の進歩のけん引力になってこられた方々がつぎつぎご紹介され、表彰される中で、自分がそうした我が国の知性と英知の集まりの現場に立ち会っていることがまさに夢のように感じられました。

ただ、かくなる私がなぜこの壇上にいるのかといささか戸惑いましたが、司会の細川佳代子元総理夫人の丁寧なご紹介で、長年NPO法人としてピアノ音楽を通して障害のある方がたとともに指導に取り組み、さらにピアノパラリンピック運動の中で、日ごろチャンスの少ない人びとへの活動の場の創設、そして希望を与えてきたことへの賞ということでした。

私としては、人の健康に関して、医療と音楽は密接な関係にあることは、以前から日野原先生のご指導の中で学んできましたが、これがこうした受賞につながるとは思っても見ませんでした。

しかしこうした長年の取り組みを一つの業績として評価していただいたことは私にとって涙が出るほどにうれしいことでした。

ステージで繰り広げられるセレモニーの中で、なぜか今まで出会ったハンデーターを持つ子供たちの懸命な演奏の姿、両親の述懐、世界の各地で行ったコンサートの思い出が走馬灯のように思い出されることでした。

いただいたこの賞と、豪華な、そしてずっしりと重い「スワロフスキー」のトロフィーと、副賞の賞金は、この運動にかかわったすべての子供たち、家族、ボランティアなど関係者への讃歌であり、更なる発展への期待と受け止めさせていただきました。

最後にこのような素晴らしい名誉を頂くきっかけを作っていただいた元厚生労働副大臣で現米沢市立病院 病院長 渡邊 孝男先生に心からの感謝を申し上げます。

2015年5月



「第1回 山上の光賞」受賞者の方々。



会場にて、渡邊孝男先生、 日野原重明先生 迫田時雄

さんじょう ひかり しょう

山上の光賞

日本の健康・医療分野で活躍する75歳以上の方々を称える

さんじょう ひかりしょう
「 山 上 の 光 賞 」について

「山上の光賞」は日本の広範な健康・医療分野において素晴らしい活躍をし、よりよい社会を築くことに貢献している75歳以上の方々を顕彰するプログラムです。高齢化社会を抱える日本では、高齢と言うとアルツハイマー病、パーキンソン病、骨粗しょう症等、とかくネガティブな話ばかりを耳にしがちです。しかしながら、その対極には日本の高齢者が素晴らしい活躍をされている数多くの偉大なストーリーがあるはずです。そこで、高齢を迎えてなお、その知性、経験、そして知識を駆使しながら、後に続く世代の歩むべき道を照らす「山上の光」として活躍を続けておられる方々を顕彰することにより、更に多くの日本のシニアを勇気付け、活発な社会の一員として活動し続けることの素晴らしさを伝えることをこのプログラムは目指しています。

「山上の光賞」では、健康・医療に関する様々な分野を対象とし、例えば、医師、研究者、看護師、介護福祉士、NPO 職員等、健康・医療に関連する広範な分野における75歳以上の方々の活動を顕彰致します。

全国から募集する候補者の選考は、本プログラムの事務局からは独立した審査委員会によって厳正に行われます。「山上の光賞」の審査基準は以下の通りです。候補者はこのうちひとつ以上の項目に当てはまることを期待されます。

- ■ 高潔な人格
- ■ 組織における卓越したリーダーシップ
- ■ 特定の領域におけるニーズに応え、健康・医療の促進に大いに貢献する業績を有する
- ■ 医療サービスの提供における大いなる貢献
- ■ 創造力豊かなアイデアで既存のプログラムの大幅な伸展に貢献した実績
- ■ 健康・医療の分野における斬新なアプローチの導入
- ■ 健康・医療に関わる諸分野での研究における飛躍的な成果(ブレイクスルー)
- ■ 公衆衛生の促進への貢献

候補者の活動が賞賛に値するものであるかを重視し、過去に多くの顕彰を受けている活動も、また逆に「縁の下
力持ち」的な活動であり世間に知られていない活動も本プログラムの対象とします。また、それぞれの活動が人々
の健康や医療に与えたインパクトが重要であると考え、長年にわたる活動も、短期的な活動も共に対象とします。

候補者の推薦にあたっては、その個人が受賞者に相応しい人物であることを示す客観的な評価等を含め、その理
由を数値を使うなどしながら、できるだけ具体的に記載して下さい。なお、推薦者本人以外による推薦状を添付して
頂いても構いません。

共催:

一般社団法人 日本病院会
公益社団法人 全日本病院協会
公益社団法人 地域医療振興協会
セルジーン株式会社

後援:

公益社団法人 日本医師会
日本医学会
一般社団法人 日本慢性期医療協会
公益社団法人 日本看護協会

審査委員会・諮問委員会

審査委員(五十音順、敬称略)

安西祐一郎	独立行政法人 日本学術振興会 理事長
石井 正三	公益社団法人 日本医師会 常任理事
坂口 力	国際医療福祉大学 特任教授、元厚生労働大臣、元衆議院議員
樋口 恵子	NPO 法人 高齢社会をよくする女性の会 理事長
藤崎 一郎	一般社団法人 日米協会 会長、前駐米大使
古川 貞二郎	恩賜財団 母子愛育会 理事長、元内閣官房副長官、元厚生事務次官
細川 佳代子	公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本 名誉会長、 NPO 法人 勇気の翼インクルージョン 2015 理事長

向井 千秋 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 宇宙医学研究センター長、宇宙飛行士

渡辺 允 前宮内庁侍従長、元駐ヨルダン大使

※各人は必ずしも所属先の代表として「山上の光賞」の審査委員を務める訳ではありません。

諮問委員(五十音順、敬称略)

石田 祝稔 衆議院議員

今井 裕 東海大学 医学部 学部長／画像診断学教授

大塚 太郎 青梅慶友病院 理事長

大塚 義治 日本赤十字社 副社長、元厚生労働事務次官

小田野 展丈 元駐 EU 大使

加藤 益弘 東京大学 トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ 特任教授

河北 博文 社会医療法人 河北医療財団 理事長

紀伊國 献三 公益財団法人 笹川記念保健協力財団 会長

幸田 正孝 医療経済研究機構 顧問、元厚生事務次官

佐々木 伸彦 東京海上日動火災保険株式会社 顧問、前経済産業審議官

新藤 義孝 衆議院議員、前総務大臣

高成田 享 仙台大学教授、元朝日新聞論説委員

立川 敬二 立川技術経営研究所 代表、前宇宙航空研究開発機構理事長、元 NTT ドコモ社長

谷合 正明 参議院議員

とかしき なおみ 衆議院議員

直嶋 正行 参議院議員、元経済産業大臣

中山 泰秀 衆議院議員

羽田 雄一郎 参議院議員、前国土交通大臣

原田 明夫 弁護士、元検事総長

坂東 眞理子 昭和女子大学 学長

福井 次矢	聖路加国際病院 院長、聖路加国際大学 理事長
古川 元久	衆議院議員
古屋 範子	衆議院議員
松本 純	衆議院議員
溝口 善兵衛	島根県知事
三ッ林 裕巳	衆議院議員
百村 伸一	自治医科大学附属さいたま医療センター センター長
森口 泰孝	東京理科大学 副学長、前文部科学事務次官
門田 守人	公益財団法人 がん研究会 有明病院 病院長
吉澤 靖之	東京医科歯科大学 学長
渡辺 孝男	米沢市立病院 病院長、前参議院議員

※各人は必ずしも所属先の代表として「山上の光賞」の諮問委員を務める訳ではありません。

募集要項

顕彰部門	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医師部門 ■ 研究者部門 (医学、生物学、化学、医療経済学、医療政策研究等を含む健康・医療に関わる広範な分野における研究者) ■ 看護・保健部門 (看護師、助産師、介護福祉士、セラピスト等を含む) ■ NPO・ボランティア部門 ■ 公衆衛生部門 (職種を問わず公衆衛生の促進に貢献する方)
対象	75歳(2014年12月31日現在)以上の方
応募形式	他者推薦

応募締切	2015年3月2日(月)午後5時
応募方法	E-mail info@sanjo-no-hikari-sho.com FAX 03-5427-7310 郵便「山上の光賞」事務局宛 〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 13階 WS 気付 ※推薦用紙はウェブサイト www.sanjo-no-hikari-sho.com でダウンロードして頂くか、事務局にお問合せ下さい。なるべくデータでお送り下さい。
受賞者発表	2015年3月下旬に推薦者と受賞者に通知
第一回授賞式	2015年5月12日(火)ANA インターコンチネンタルホテル東京にて開催予定
正賞・副賞	記念杯を受賞者本人へ、賞金100万円を受賞者の所属機関へ贈呈